

初回生産はシリーズ計14本。
それ以降は受注生産となり、
3~4ヶ月後の納品の見込み。

take out
a trademark

商標 とれたて

秋田の魅力を集約 技術と技巧が詰まった オリジナル腕時計

創業92年目を迎える老舗時計・宝飾品店の株式会社時幸堂。昨年12月、メイドイン秋田の高級腕時計「MINASE」と銀線細工とのコラボによる、オリジナル腕時計の販売を開始した。そのブランド名「サキホコル」(商標登録第6509691号)が、今年2月に商標登録された。

オール秋田の腕時計で思いを形に

代表取締役の藤井政徳氏が、腕時計の自社企画に着手したのは昨春のこと。以前に「MINASE」の製造元である協和精工株式会社で銀線細工を施したサンプルを目にしてから、MINASEとのコラボレーションでのオリジナル商品の構想を温めていたが、秋田米の新品種「サキホコレ」命名のニュースを見て、活性化センターの知財総合支援窓口にご相談した。サキホコレから着想を得た「サキホコル」という名称が、「県内企業とともにつくり、秋田を元気づけるもの」という商品イメージにぴたりと嵌まったからだ。

「10年ほど前からセンターを活用し、対話の中からアイデアが生まれることも多くあったので、今回も命名しようと思った段階から相談しました。思いを形にしてつくりあげるものは、わが子同然。商標登録で権利を守ることは重要と考えています」。

藤井社長は、センターのサポートを受けながら商標クリアランス調査を行って出願手続きを進め、オリジナル腕時計のプロモーションを展開していった。



“秋田”を発信する新たな名産品を目指して

藤井社長は、文字盤のモチーフを、秋田を象徴する「稲穂」と春の千秋公園をイメージした「桜」に決め、同じ秋田市大町に店を構える矢留彫金工房に銀線細工のデザインと制作を依頼。「秋田らしいモチーフを決めたものの、その仕上がりがうまく想像できなかった」という不安は、試作品の美しさに払拭された。銀線細工には珍しい稲穂のデザインには、糊の表現に工夫された技法が用いられるなど、業種を超えた連携は伝統工芸に新たな風を吹き込んでいる。稲穂を羽ばたく鳳凰に、桜を下弦の月に見立て「稲鳳(いなほ)」「桜見月」と命名し、「サキホコル」シリーズとして発表。偶然にも、時計に携わって25年の集大成となった。「当店は近くに観光名所が多いので、サキホコルブランドを、秋田の技術や伝統工芸を発信する名産品のひとつに育てたいです。ここにしか

ない商品を取り揃え、県内外から訪れるお客様に、感動してもらえるお店でありたいと思います」。

藤井社長は、シリーズの新展開や、他の伝統工芸とのコラボレーションにも思いを巡らせている。

株式会社時幸堂

〒010-0921 秋田県秋田市大町1-2-7 サンパティオ大町
TEL.018-888-3800 FAX.018-866-8812
<https://jikodo.com>

●会社概要 宝石、貴金属、時計、宝飾品等の販売

代表取締役

藤井 政徳

ふじい まさよし

